



長崎被災協・被爆二世の会・長崎

二世の会ニュース

NO.10

—発行日—

2015年

4月7日

〒852-8115 長崎市岡町8-20 被災協気付

☎ 095-844-0958

hisaikyo2sei@yahoo.co.jp



1月31日 第3回被爆者運動継承の学習・交流会

2015年1月31日、福岡県教育会館にて九州ブロック二世連絡会「第3回 被爆者運動継承の学習・交流会」が行われました。

長崎から5名（佐藤す・高森・柿田・堀・福岡在住の江口）
諫早から2名が参加しました。

開会挨拶、黙祷の後、日本被団協中央相談所委員会理事・
長崎被災協相談員の横山照子さんを講師に迎え、「相談事業
をどのように継承していったらいいのか」という演題で話
していただきました。

これまでにあった事例をもとに、被爆者に寄り添った支援
を行ううえでの問題点や苦勞がうかがえ、被災協がおこな
ってきた活動の大切さを改めて知ることができました。

また、被爆者が高齢化するなかで、このような活動を引き
継いでいくことが重要であると認識しました。

そのほかにもエフコープによる20年以上続けられている
被爆体験証言集の聞き取り活動の報告もありました。

長年にわたっての活動で、その地道な活動に頭が下がる思いがしたのと同時に、これからの私たちの活動に参考になりました。



また、福岡県被団協会長の藤田さん、福岡被爆二世の会会長の南さんによる「記憶していない0歳児被爆者と被爆体験のない二世がどのように被爆体験を継承していくのか」という対談もありました。

記憶のない被爆者、また 体験のない二世・・・
共に被爆の実相を知ってもらうための苦勞やジレンマ・・・

これから私たちが継承していくうえで直面するであろう問題点を知ることができました。

二世としての活動を反省させられたり、励まされたり、有意義な学習交流会でした。（堀洋美）

被爆二世健診等の充実などを長崎市、長崎県へ要請

2月9日、被災協の谷口会長、山田事務局長とともに長崎市へ二世施策について、佐藤会長、高森副会長、柿田事務局長、堀役員が要請しました。

長崎市は野瀬・原対部長、浦瀬・援護課長、鳥巢・調査課長、松尾・被爆継承課長他が対応しましたが、二世健診の充実、被爆二世の手帳交付などについて、国の責任で行うべきことで長崎市も要請している、市としての施策はできないと述べました。なお3月1日、長崎市から文書での回答が届けられました。(別紙)



2月19日、長崎県へ被災協の谷口会長、山田事務局長とともに、「二世の会・長崎」役員3名と「二世の会・諫早」の森会長、高屋事務局長、会員の大宮さんが参加し、要請しました。長崎県は林原対課長、課長補佐他が対応しました。長崎市と同じく、放影研などの研究で今の段階では二世には影響がないとされるため施策はできない、厚労省に対し県としても引き続き訴えていくと繰り返されました。文書による回答を求めましたが、県としてはしていないとし、今回も文書による回答はまだ届いていません。(柿田富美枝)

2月15日「核兵器廃絶アピール署名4周年集会」に参加

核兵器廃絶アピール署名4周年集会が長崎市立図書館多目的ホールで行われ、NPT再検討会議代表団が壇上に並びました。被災協の谷口会長、田中理事とともに「被災協・被爆二世の会・長崎」の3名が参加しました。決意メッセージは以下のとおりです。



左より松尾さん父娘、次が佐藤澄人さん、朝長万左男・原爆病院名誉院長、谷口稜嘩・被災協会長、柿田、その右3人目は田中・被災協理事

★佐藤澄人さん

ちちをかえせ ははをかえせ

としよりをかえせ

こどもをかえせ

わたしをかえせ わたしにつながる

にんげんをかえせ

にんげんの にんげんのよのあるかぎり

くずれぬへいわをへいわをかえせ

(峠三吉の詩)

被爆70年、引き継がれてきた被爆者の運動に学び「核兵器全面禁止のアピール署名」に託された思いを国連へ届けてきます。

そして核兵器禁止への歴史的な瞬間に立ち会いたいと思います。



★松尾幸佑さん（長崎県立国見高校教師）

初めての海外での核兵器廃絶に関わる会議での出席。父が、長崎で被爆しました。今回は2世の私と3世の娘の2人で参加予定です。出身小学校は原爆落下点が一番近い城山小学校、中学校は淵中学校。現在は公立高校に勤め、8月9日は平和学習と偶然にも、原爆や平和活動に関わる人生を歩んできました。そして、3年前には被爆二世の会に加入し、微力ながら活動させてもらっています。NPT再検討会議には初めての参加でどのようなことをするのか、経験をもとにそれをみんなに伝えていくことが当面の私の仕事だと思っています。まあ、「行ってみると分かん。」でしょうから、とにかく精一杯、五感を研ぎ澄ませ、活動してきます。よろしくお願ひします。

★柿田富美枝

被災協から谷口会長、田中理事とともに参加します。日本被団協代表50名の1人として、NPT再検討会議の傍聴や、国連本部での原爆写真展、学校などでの証言活動をおこないます。

被爆者は高齢になり、なかには体調がすぐれず、行きたくても行けない人がいます。被爆者に代わって、被爆者の願ひを訴え、被爆二世の活動を世界の人々に伝え、核兵器廃絶のため、精いっぱい頑張ってきたと思います。

3月の二世の会の原爆写真パネル展に、来てくださった観光客、子どもたち、二世、三世、被爆者の方々に、ハートの形の布にメッセージを書き込んでもらいました。

皆さんの平和への思いを横断幕にして、ニューヨークで平和行進してきます。



3月3日「原爆にさわる」NHK テレビ番組 九州・沖縄

二世の会の活動を追った番組が放送されました！NHK九州沖縄 戦後70年「原爆にさわる 被爆をつなぐ～長崎・背負い続けた家族の70年～」が、3月3日（火）午後10:00～10:48に放送されました。この番組は、昨年の総会で講演をお願いしたフリージャーナリストの熊谷博子さんによって制作されたものです。



私たち二世が長崎被災協谷口会長のケロイドの背中を見て触れることで、改めて原爆の怖さを実感し、それを後世にどのように伝えていけば良いのか試行錯誤しながら活動をしている様子を収めた作品に仕上がっていました。

この番組を見た会員の方から、「番組拝見しました。感動しました。原爆のむごたらしい出来事をよくそこまで伝えて頂けた事、そして制作的にも良かったと思います。お疲れ様でした。」とのメールをいただきました。

また8月には続編が放送される予定ですので、追ってお知らせします。（佐藤直子）

3月7日 被爆70年集会に向けた取り組みスタート



学童クラブで被爆体験をこどもたちへ

やまざとクラブ、やまざとキッズハウス、わくわくたかお、きらきらたかお、よつばクラブの五つのクラブ、5年生6年生を主に約20人の協力で渡辺すが子さん（被災協の語り継ぐ会会員）の被爆体験を語る会を行いました。

被爆70年集会に向けた取り組みの一つで、「継承」を考えるプログラムです。子どもたちとともに「被爆」を知ること、私たちの大きなテーマである「被爆の継承」のイメージをつかむことができるのでは

ないかとの問題意識から取り組みました。

元教師の渡辺さんの、語りかけながらの証言に子どもたちはその状況を想像しているようでした。参加した若い指導員の「ともに被爆を学び、継承し広めていくことは長崎市民の責任でもあり、今、大事なこと。」との感想に、良い企画になるのではないかと思います。

テレビや新聞の取材もあり今後の成り行きに期待感あります。参加したのは、佐藤す、高森、岡本ひ、岡本み、堀、柿田でした。（佐藤澄人）



3月13日 NHK長崎放送局より表彰

「被災協・被爆二世の会・長崎」が、NHK長崎放送局から感謝状をいただきました！



3月13日（金）11:00～NHK長崎放送局において感謝状の授与式が行われ、会長の佐藤と事務局長の柿田が出席しました。

NHKの多くの番組の制作やニュース取材に協力したとして、「被災協・被爆二世の会・長崎」、



「城山小学校被爆校舎平和発信協議会」など4団体が、古谷局長より感謝状とトロフィーをいただきました。これを励みにこれからも地道に活動を続けていきましょう。

（佐藤直子）

3月28日（土）、29日（日）原爆写真パネル展



二世の会の恒例となった写真パネル展も5回目となり、今回も二世の会員を初め、出演者、支援者の方々のお陰で盛況の中、無事終える事が出来ました。

ご来場の方も北は北海道、南は鹿児島まで、観光客の方、原爆や平和に関心を持たれた方々が来場してくださいました。今回は少し趣向を変え、平和朗読会を中心に行いました。

須磨子忌が4月2日ということで、原爆詩人『福田須磨子さん』について事前に学習し、コーナーを設けました。福田さんの詩「生命を愛しむ」「ひとりごと」「童女よ」など5編を会員で朗読しました。

イベント内容の向上を目指し、今後も色々と試行錯誤しながら、より良い恒例行事にして行きたいと考えております。ご協力、ご支援ありがとうございました。

（高森ひとみ）



今年は、私が野外ライブのプロデュースをさせて頂きました。正直、初めての試みで不安で押し潰されそうになったり、逃げ出したくなりましたが、二世の会の皆さん・ライブの出演者の音楽仲間、沢山迷惑をかけたにも関わらず、皆さんにご協力していただき、沢山のお客様にもきて頂き、無事に終了させることができました。

今後も二世の会の一員として、僕と同世代や下の世代の子達にも愛と平和を発信し続けていきたいと思っております。（千草哲平）

2014年11月、12月の活動

★日本被団協中央相談所委員会・九州ブロック相談事業講習会

11月2日（土）、3日（日）、宮崎市の宮崎観光ホテルにて開催されました。被災協から10名（二世の堀も含め）、二世の会から1名（高森）が参加しました。

二世として被爆者の方をサポートしてJR、飛行機を乗り継いでの珍道中。被爆者の方と楽しく2日間を過ごしました。これからの被爆者と二世とともに歩いていく活動の一步として学ぶこともたくさんありました。



2015年度は長崎市のホテル清風で12月5日（土）、6日（日）開催されます。九州各県から被爆者と二世で約300名集まる予定です。多くの二世のみなさんで参加し、交流し、学び、また被爆者へのサポートもお願いします。（堀洋美）

★不戦のつどい

12月8日午後5時半、太平洋戦争開戦の日に不戦の碑の前に約50名が集い、高校生による平和の歌や被爆者の話を聞き、戦争のない平和な世界にする決意を新たにしました。二世の会から参加したのは佐藤な、柿田、堀でした。（柿田富美枝）

★NHK「ゆく年くる年」

12月31日深夜、浦上天主堂のミサの映像のあと、平和祈念像前に50名ほど集まり二世の会のメンバーと友人たちの歌声が全国に流れました。（柿田富美枝）

☆☆☆今後の行事予定☆☆☆

- 4月12日（日）13時～14時 第10回二世の会会議 被災協2階会議室
14時～16時「被爆70年集会の実行委員会結成」地下講堂
♪被爆者と二世の楽しい交流の場にしましょう♪
- 18日（土）10時～11時 第2回・山里小学童クラブでの取り組み
- 19日（日）13時半～15時半 二世の会 2015年度総会
被災協地下講堂
- 24日（金）～5月1日（金）NPT再検討会議
- 28日（火）13時半 ノーモアヒバクシャ訴訟傍聴支援 長崎地裁



二世健診を積極的に受診し、

がん検診などを含む充実した二世健診を求めていきましょう！